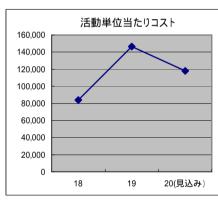
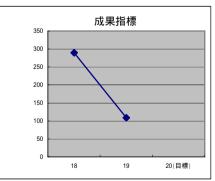
1	事務事業名	障害程度区分認定事務					会計款	1	一 般 民生費		計			
445	443					予算		-						
総合	まちづくり	2	健康で生き生きと草	暮らせるやさしいまち			項	1	社会福	祉費				
総合基	の目標(章)					科目	目	2	社会福	祉事	業費			
本計	施策(節)	4 障害者福祉					事業	37	障害程	度区	分認	定		
画	施策の方向	(2)	地域での自立した生活	舌支援の充実	支援の充実			作成部署 保健福祉部福祉支援課			爰課			
関:	連する計画等	羽曳	野市障害福祉計画		連	絡先	072	958	111	1	内線	1211		
事	対象(誰を・	・何る	')											
業の	障害福祉サー	-ビ	スの利用を希望する障	害者										
目	意図(どうい	いう状態にしたいのか)												
的	適正なサーと	ごスオ	利用を可能にする。											
事	障害福祉サー	- ビ	スの利用を希望する障	害者に対し、聴き	取り調	首	等を実	施	したう	え障害	手程 原	医区分認	定審查?	会へ諮
業	り、障害程度	区分	分の認定を行う。											
の	障害程度区分	が、	支援の必要度を表す	尺度で、1から6ま	での6	段階	皆があり	る。						
<u> </u>														
容														
7	根拠法令等	障害	者自立支援法											
事	業開始時期		昭和 🗹 平成 18年	月開始	明確	館に	はわか	らなし	l I	終了	年度	平成	年度	
	業開始時から													
	状況変化													
市 望	民や議会の要													
=	実施手法	П	直営 「一部領	委託 □ 全部委託	F	П	補助金	• B1	h成全		1 その	D他()
委託先		\vdash		L I	<u> Ц</u>	明的亚	- 11/	ᇄᄷᆓ] (ノ1じ ()	
		外郭団体委託 名称 日本				委託内容 第1次判			次判定	判定に係る認定調査				
		✓	民間委託											
	<u> </u>	18年度 │ 19年度				20年度								
	X		分	(宝縷) (宝縷					活動単位当たりコスト					

		区 分		18年度		19年度	20年度	
		<u></u>		(実績)		(実績)	(見込み)	
事	業費	t [1]	(千円)	7,10)4	2,950	3,000	
人	牛費	[2]	(千円)	17,16	06	13,500		
	田中小	正規職員		2.00 ,	人	1.20 人	1.50 人	
	職員	再任用職員		0.00	人	0.00 人	0.00 人	
	契数	嘱託職員		0.00	人	0.00 人	0.00 人	
	双	臨時職員		0.20	人	0.50 人	0.50 人	
	超i	過勤務(参考)	(時間)	眼	詩間	0.00 時間	0.00 時間	
総	事業	費(【1】+【2】)【A】	(千円)	24,264		13,930	16,500	
	-	国費	(千円)	3,06	67	1,367	1,663	
	財源内訳	府費	(千円)					
		市債	(千円)					
		その他 (手数料・使用料等)	(千円)					
		一般財源	(千円)	21,19	97	12,563	14,837	
活	動指	『標(事業の活動実績)【B】	単位	18年度		19年度	20年度(目標)	
認定件数				289		95	140	
活動	助単	位当たりコスト(【A】/【B】	83,958	円	146,632 F	117,857 円		
市目	₹ 1	人当たりコスト(【A】/人口	202	円	116 E	138 円		





	(+	指標名	指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度		平成20年度	
	事業目 的		目標値の設定にはなじま ないため、実績値として 年間の認定件数を示す。				達成率(%)		
成果指標	の達せ				289	109			
				目標			達成率(%)		
	指標)	(式)		実績					

市の関与			市の関与が必要な理由									評価				
			1	1 2 3 4 5 6				7	7 8		必要性	分析・評価の説明				
			法令上	受益者	最低限	市民の	社会的	民間だ	民間だ	市の特			法令上義務付けられた事			
	ョの		の義務	が不特 定多数	の生活 水準を	不安を 解消	経済的 弱者を		けでは	色等を			業である。			
	必			止多数	確保	用牛/ 闩	羽白を対象	貝担しる	供給不 足	市内外 へ発信		有				
	要性				FIL DIS		7,127	1000	~_	.2010						
	性															
	視	点		分	析のため	のチェッ	ク点		はいい	1え 該当 なし		分析·	評価の説明			
			市民ニーズが高い													
			市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない													
			社会情勢の変化に対応している													
	妥当	当性	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない													
			国・府の事業と重複していない													
			事業を休」	 止、廃止した	た場合の影	響度が大き	÷ ()									
			事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい 緊急性が認められる													
			単位コスト	か適切であ	5る(経年、	他市比較な	1ど)		V				審査委員の報酬について			
			受益者負担の割合は適当である							<u> </u>	は見直しの余地があると考えています。					
			人員を削減する余地がない					☑ [
分析	効逐	~性	事業費を削減する余地がない							7 🗆						
17) I •	XNH		簡略化できる方法や手段がない						☑ [
評価			市の他事業と重複していない						V							
価			民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない						, 🔼 [
			上位の施策(目的)が明確である						☑ [障害者の自立と社会参加に繋がる。					
	≠ ∴	:tuk#-	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である						V							
	有効性		成果を向上させる余地がない						V							
			市民の視点にたってサービスが提供されている													
			事業の企画、立案に市民が参加している													
	協係	助性	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている]					
	協働性		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している]						
			事業の実施に市民の参加、協力が得られている													
				の目標値は						 ,			であり、目標値の設定に			
	達瓦		成果指標の実績値は目標値以上である						<u> 기억</u> (はなじまないので、達成度の判定は困難で ある。						
			成果指標	は前年度よ	り向上して	いる										
		総合	·評価													
			拡大·	充実 🔽] 現状維	詩 🗌	方法改善	■ 日民	:営化·民	間委託	□ 縮小	\	₹止·休止 □ 完了			
	担	評価	の理由													
	担当部局	Dr.	3 +v +		- 1 10 ==	* ^ ^ *	1 III 1 N Y -	75 /-L. L. S	4 4-	.a \/=	E 4. = W.					
j	局 評	巨害	百目立	文抜法に	_より番	宣会の設	対直 か義	7分1寸けら	れくお	リ、必要	要な事業	じめる。				
		今後	に向けて	(取組方象	針、具体的	りな改善さ	女革案な の	ピ)								
		法令	〉上義務	付けられ	た事業	であり、	引き続	き実施す	る。							

Н